

2018 年度ダイバーシティ推進研究交流発表会・情報交換会

アンケート調査結果報告書

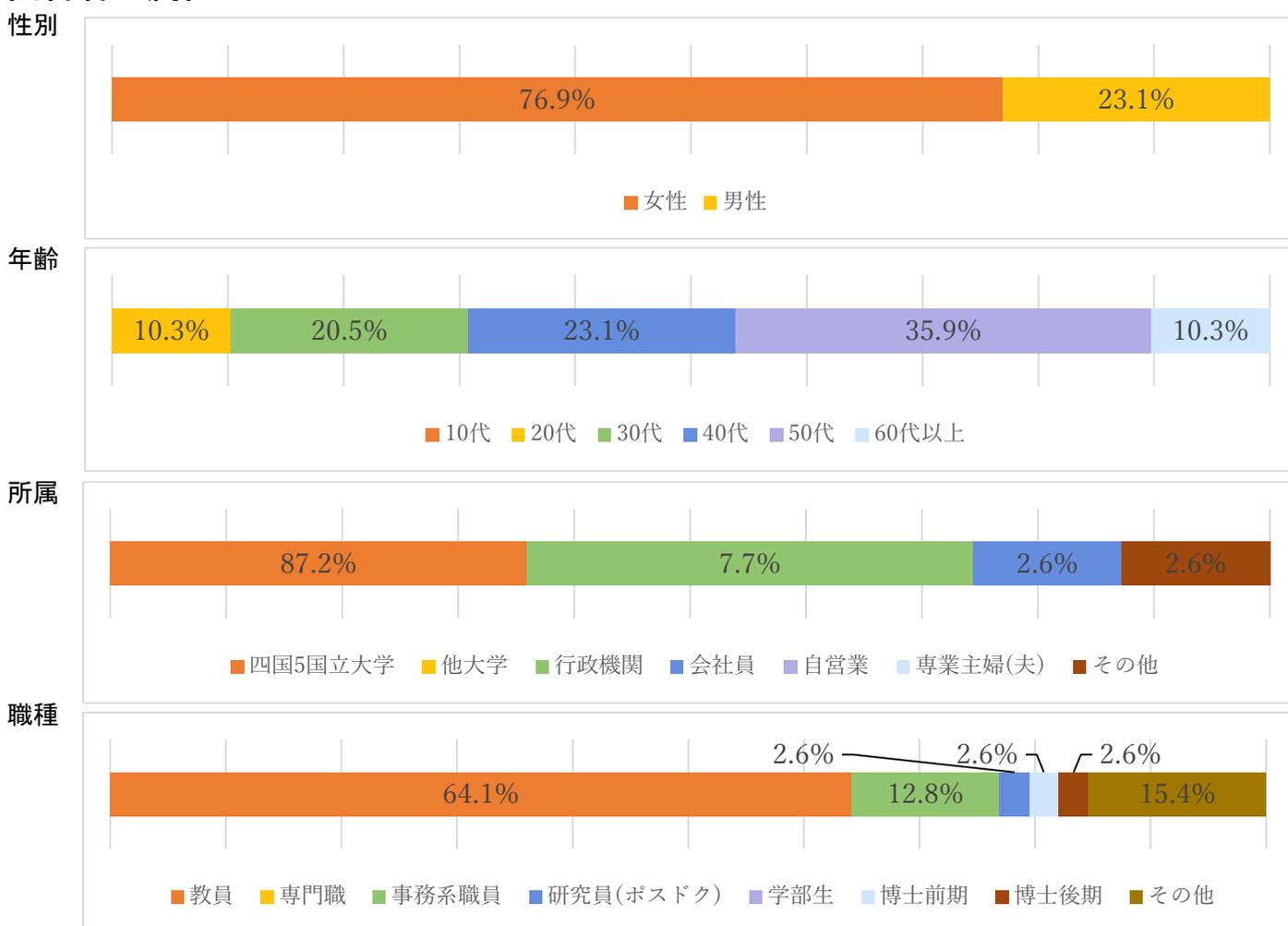
- 1) 目的 研究交流発表会・情報交換会において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2) 調査対象 研究交流発表会・情報交換会参加者全員
- 3) 調査方法 研究交流発表会・情報交換会終了後、アンケート調査票に記入
- 4) 実施日 2019年2月16日(土)

アンケート集計結果

- ・回答数 対象者 48 名、回答者 39 名
- ・回答率 81.3%

問 1. あなたご自信のことについてお伺いいたします。該当するものにチェックをいれてください。

回答者の属性



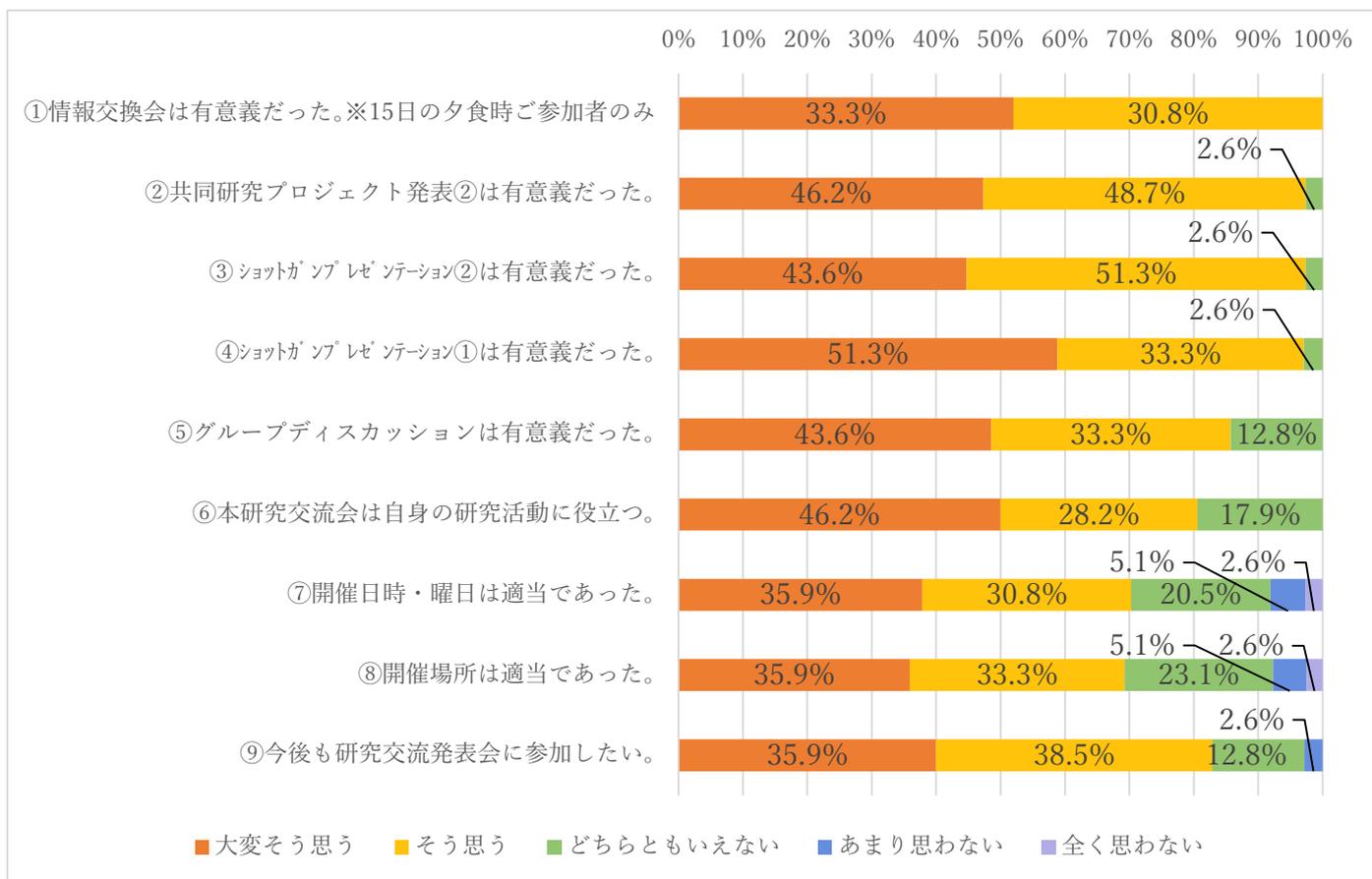
回答者の性別は、女性が 76.9%で男性が 23.1%であった。

年齢は 30 代、40 代、50 代が多く、79.5%で、20 代から 60 代以上まで幅広い年代層の参加があった。

所属は、四国 5 国立大学が 87.2%で、行政機関から 7.7%、会社員が 2.6%の参加があった。

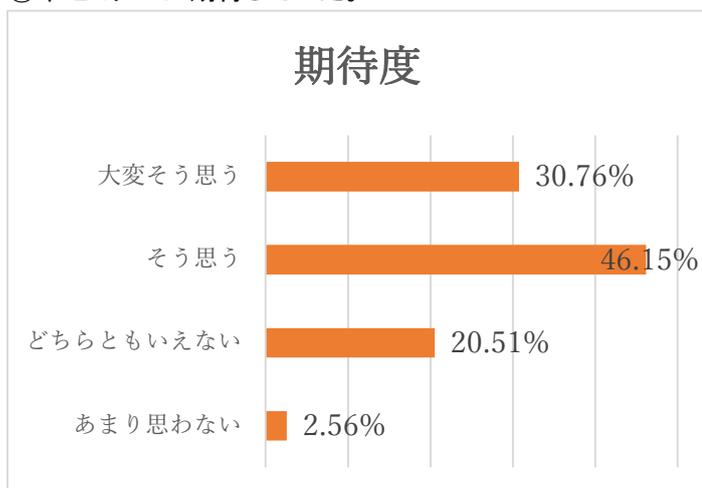
職種は、教員が 64.1%と最も多かった。

問2. 以下の質問事項について、該当するものにチェックをいれてください。

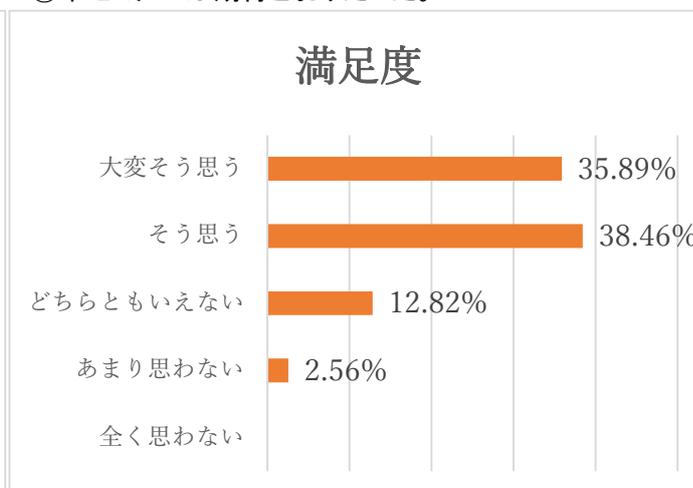


『情報交換会は有意義だった』に対して、64.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『共同研究プロジェクト発表②は有意義だった』に対して、②94.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーへの評価は高かった。また、『今後も研究交流会に参加したい』に対して、74.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズの高いことがわかった。開催形式については、各項目の『適当であった』に対して、『開催日時、曜日』66.7%、『開催場所』69.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、半数以上の方からは、適当な開催形式だったと考えられる。

⑧本セミナーに期待していた。



⑨本セミナーは期待どおりだった。



期待度は、『本研究交流発表会に期待していた』に対して、76.91%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本研究交流発表会は期待どおりだった』に対して、74.35%『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は4.1点、満足度は4.2点であり、期待度、満足度ともに高く、満足度が期待度を超えていた。

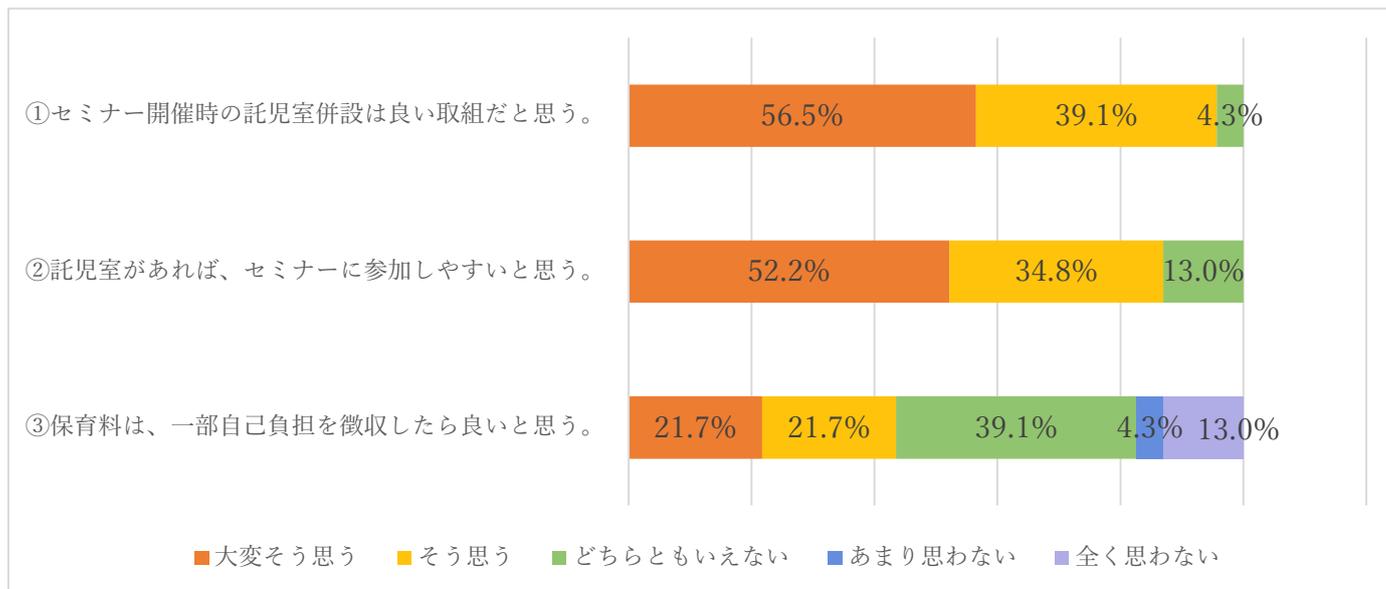
問 3. 問 2 で「あまり思わない」または「全く思わない」と回答された方は、理由またはご希望をお教えてください。

- 卒論時期であること。また一般公開して研究交流すべる。
- 若手の研究助成をしたほうがよい

問 4. キャリア形成・家庭と仕事の両立において最も不安や疑問に思うことは何ですか？

- 晩婚で育児・介護、キャリアがのしかかってくる。無理です。
- 外部資金を獲得している際にライフイベントが発生した場合の研究の進め方について。
- 育児との両立、周囲がどのくらい力をかしてくれるのか

問 5. 託児室を併設したセミナーの開催についてお伺いします。(回答者 23 名)



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、回答者の 95.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、87%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高めであることがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、43.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し 39.1%が『どちらともいえない』、17.3%が『あまり思わない』『全く思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。

問 6. その他、ご自由にご感想やご意見などがありましたらご記入下さい。

- 託児室の料金は予算に余裕があればぜひ補助してほしい。
今回、男性の参加者、発表者が増えて、とても良いと思いました。
- 共同研究プロジェクト発表にも抄録がついているとありがたいです。
- 勉強になりました。もう少しゴールやプロセスを変えようというまいきそうな発表もありました。今後の充実に期待しています。
- ありがとうございました。
- 研究ニーズ・シーズ集が共同研究者を探すのに、大変役立った。